

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	遊ボール (あそぼーる) 松本プロジェクト
事業主体 (連絡先)	遊ボール松本運営委員会 0263-64-2060
事業区分	(3) 教育・文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,510,720円 (うち支援金: 1,208,000円)

事業内容

【目的】

私たち野球関係者は、地域の子供たちのために何かで出来ないだろうか。そんな思いから生まれたのが「遊ボール松本プロジェクト」です。

本プロジェクトは、松本市の産学民の野球関係者（松本市野球場・松本大学・市内の硬式、軟式の少年野球指導者他）と保育現場と力を合わせて、子供たちの健全な成長に寄与することを目的としています。

また、子供たちに遊ボールや関連イベントを通じて、スポーツの楽しさ、幼児期からの運動習慣の推進を目指していきます。

【令和元年度実施内容】

遊ボール実施園数	22園
〃 実施回数	(各園1回~3回) 全62回中30回実施
参加人数 (年長)	延べ670名
〃 (年中)	延べ100名
〃 (コーチ)	延べ180名
特記事項	●コロナ感染症の影響のため32回中止になりました。 ●コロナウイルス感染症対策のためジャイアンツアカデミーも中止になりました。



【ダルマ落としバッシング】

■内容

- ・遊ボール体操
- ・ベースランニング
- ・紙でっぼう
- ・ロケット投げ
- ・転がるボールをキャッチ&スロー
- ・ストラックアウト
- ・ダルマ落としバッシング
- ・パールシャトル入れ…等

■場所・園庭・遊戯室・体育館・運動広場…等

■実施時間・1時間~1時間30分



【各団体からの協力】

事業効果

- 多くの園で評価された点
 - 『投げる』技術が目に見えて向上しました。(特にドッジボール実施時に実感)
 - 『打つ』は、バットを持った特殊な動きで、園で教えるのは難しいですが、ダルマ落としを利用し、安全・安心に学べました。
 - バトミントンのシャトルを使いペールに入れる競争を行い。バトミントンのシャトルは上投げをしないと遠くまで飛ばないため上投げの意識付けができ下から投げる子が減りました。
 - 耳の横から投げることや投げる時の合言葉を教えてもらったことで意識できた。
- 女性のコーチから、丁寧に教えてもらえた。また、女性ならではの気配りがみられ、子供たちとの関わり方が大変良かった。
- 沢山の道具をうまく利用し、子供たちの関心を高めてくれました。
- 1回目は、投げることを重点に置き、2回目は打つことも取り入れ、子どもたちの発達や関心にも合っている内容だった。

【目標】

- ①産学民の野球関係者がひとつになり、子供達の健全な成長に寄与する。
- ②本プロジェクトを通して、幼児期に必要な運動能力を身に付けてもらう。

今後の取り組み

- 今後は塩尻地域や長野地域、近隣市町村への拡充を踏まえ
 - ①運営面・資金面の強化
 - ②他地域での運営指針の決定
 - ③人材の育成
- に力をいれ取り組んでいきます。

自己採点【A】

- 開始3年目を迎えましたが、今年は、コロナウイルス感染症のため、前期は1園除いて全て中止になりました。しかし、後期は感染症対策を万全にし、29回野球教室を実施することができました。各実施園からは、コロナウイルス感染症対策をするなか実施し高評価を頂けました。
- 来年度は、今年できなかった塩尻市での実施や、長野市の実施、全県の幼児野球教室の窓口として活躍の場を広げていきたいと思っております。